

初夏の高尾を歩く (2022/06/07)

狭山班 服部昌樹

初夏の高尾山で可憐なセッコク（着生らん）と野草観察を楽しもうと、6月のハイキングを計画した。実施日は開花時期と梅雨入りを考慮して第一火曜日とするが、不安は的中し、前日に梅雨入り宣言が出てしまった。そして、予報は「曇り一時雨」。中止やむなしとあきらめていたが、前日の午後になり、予報が好転、午前中に太陽マークさえ出て、午後の傘マークも消えた。ただ、予報をよく見ると、13時以降の降雨確率は40%もある。しかし「スーパー晴れ女」の参加が決め手となり、雨具の用意を付記して決行のメールを打つ。心配しながら朝早く目が覚めると、西の空に大きく青空が広がっている。予報は正しかった。良かった。

8時40分頃、2台の車に分乗して、京王高尾山口に7名が集合する。

ケーブルカーの麓駅構内にセッコクの着生した木があり、無料開放している。そこで駅構内に入らせてもらおうと駅員に頼むと、かなり散っているけど、どうぞと許可を得る。確かに花の数は少ない(左写真)、もう遅かったか、提案者としてはがっかりする。そして期待がしぼんだまま、6号路(琵琶滝ルート)を辿る。途中、滝行場を過ぎると、いよいよ、セッコクが見られる場所だ。セッコクは高い杉の木の中ほどに着いているので、上の方を見ながら注意して歩く。滝を過ぎてから200mぐらい行ったところから、ぼつぼつ



みられるようになる。写真を撮ろうとするも、登山道から少し離れ、どうしても、空がバックになり逆光気味になる。筆者のスマホではいい写真が取れない。でも肉眼では、はっきり見える。そのうちの一本の杉の木は、多くの枝に着生している。HPには、「クリスマスツリー」のようにと書かれていたが、そこまではオーバーとしても本当に多くの枝にセッコクの花が見られる。提案者として良かった、ひと安心。



最近 6 号路は、頂上に近い場所に木製の階段が更新された。綺麗で歩きやすい、しかし、その数 350 段以上、延々と続き結構きつい。

頂上には多くの中学生が見られる。後で聞くと地元中学生だそう。ここで弁当を広げ昼食をとることにする。話が弾むが、スマホのアプリを見ると、あと 55 分で雨が降ると出ている。あわてて皆が持ち寄ったおやつを分配、袋に詰めてお土産として食事を切り上げることに。また、11:20 分。

下山開始、たこ杉を過ぎて左に、蛇滝ルートを探しつつ下山する。蛇滝行場を過ぎるころから雲行きが怪しくなってきた。途中、ムサシアブミの花を仲間が見つかる、めずらしいらしい。麓の小仏川沿いに下りる頃には、小雨が降りだし、皆傘をさすようになった。その後は野草を観察する余

裕もなくひたすら、駐車場に向かう。小 1 時間ほどかかり駐車場へ戻った。この間大した雨にはならなかった。この程度の雨で済んだのは、「晴れ女」の「霊験あらたか」なのか、それとも、小雨とはいえ雨が降ったのは「神通力が通じなくなった」のか。次回 9 月にその真価が問われることになる。9 月もぜひ参加してね。なお 7 月 8 月はお休み。



ハイキング データ

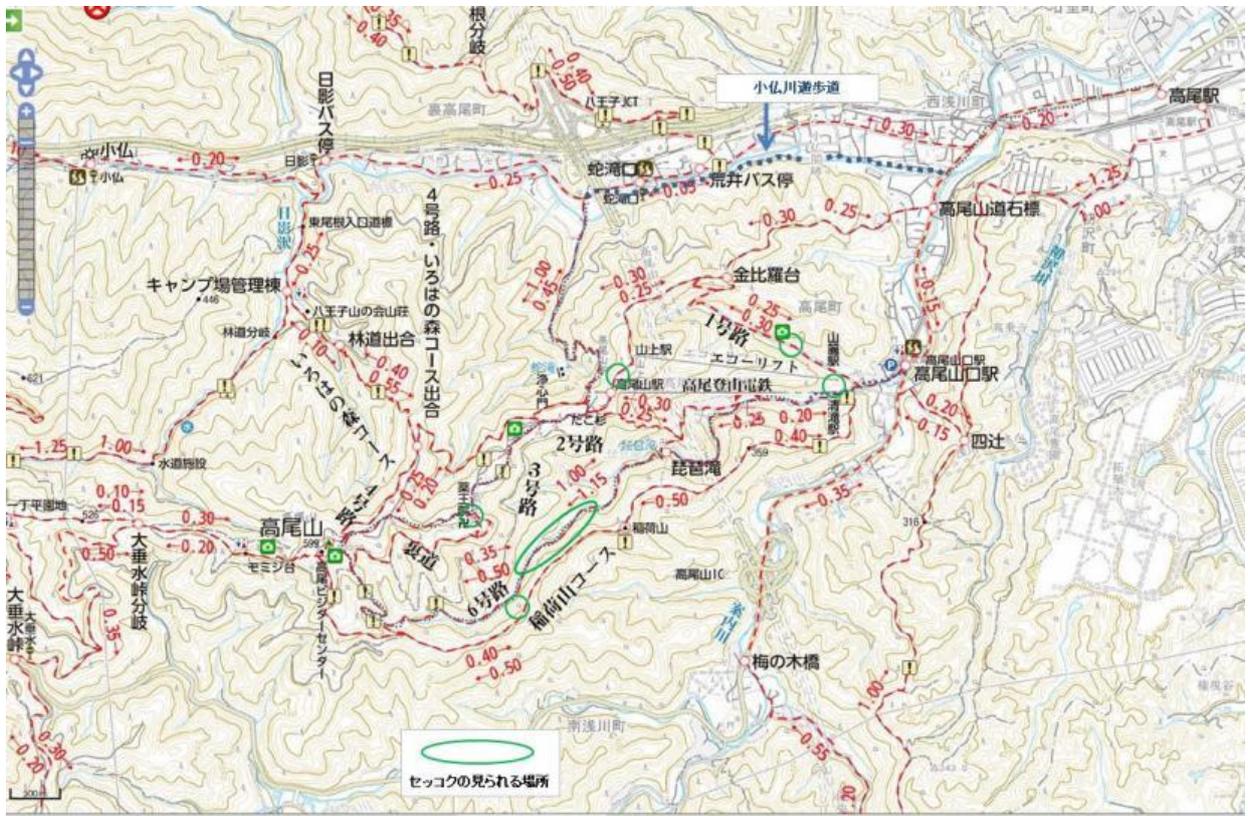
日程：6 月 7 日(火) 行き先：高尾山
標高：599m 距離：約 9km

<行程 実績> 曇りのち小雨

京王高尾山口 8:40 → 6 号路(びわ滝経由) → 10:50 弁当タイム@頂上 11:20 → 12:25 蛇滝口 → 小仏遊歩道経由 → 13:25 京王高尾山口



小仏川遊歩道案内図



高尾山ルートマップ